

平成19年第11回県教育委員会会議
教育長報告

1 報告事項

平成20年度沖縄県公立学校教員候補者選考試験応募状況について

2 事項の説明

(1) 応募の状況

願書受付期間(5月14日～5月18日)の応募者の総数は5,411人で、昨年度の5,581人に比べ170人減少している。

(2) 今年度の改善点

- ① 身体に障害のある者を対象とした特別選考試験を実施する。
- ② 中高共通で実施されていた数学の試験を中学校数学、高等学校数学と校種別に選考を行う。
- ③ 小学校体育実技内容の変更。機械運動(マット・跳び箱)の実技試験をマットのみとする。また、バスケットボールを廃止し、新しく「なわ跳び運動」とする。

(3) 校種別の応募者数

校 種	(△は減)		増 減
	本年度応募者数	昨年度応募者数	
小 学 校	1,632	1,604	28
中 学 校	1,233 (139)	1,121	112
高 等 学 校	1,913 (190)	1,894	19
中・高共通	363	710 (332)	△347
養護教諭(共通)	270	252	18
合 計	5,411	5,581	△170

※()の内数は、数学受験者。

※障害者特別選考希望状況6名(昨年度受験において障害に伴う配慮希望者数:2名)

(4) 応募者数の多い教科及び少ない教科

(人)				
多い教科	小学校(1,632)	高校保体(384)	中学社会(284)	養護教諭(270)
少ない教科	高校水産(4)	高校地学(20)	中学校技術(28)	高校福祉(32)

(5) 昨年度実施の校種別における最終合格率

校 種	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
小 学 校	1,536	121	7.9%
中 学 校	1,054	39	3.7%
高 等 学 校	1,761	89	5.1%
中・高共通	672	53	7.9%
養護教諭(共通)	238	15	6.3%
合 計	5,261	317	6.0%